

2016-2019 エコエデュ第2次中期計画

理念「種」 私たちは、可能性の種をまき、育て、増やすことで、未来につながる生き方のできる人づくりをします。

中期計画						
目標 Goal	方針 Objectives	事業 Activities	(定款の 事業項目 との関連)	結果 output	成果 outcome	影響 impact
自分の学びを自分で創り、 すべての失敗・変化を 新しい価値や喜びに 変えることができる人を 育てる	人と自然の関係の中で 「自分の学びを自分で創る」 教育の機会を増やす	社会へのサインとなる コア主催事業の確立	環境教育 活動	<ul style="list-style-type: none"> ■ 安定した組織基盤の目安である 管理費1,000万円を確保するための 主催事業収入1,182万円→3,500万円 ■ 職員6名確保 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 静岡市の12歳以下人口73,900人※ のうち10%がエコエデュを通じて 「自分の学びを自分で創る」活動に 触れている ※ 平成27年12月31日現在静岡市調べ 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 市民自ら、主体的に地域の教育 コミュニティを生み出していく のが静岡のあたりまえになる。 ■ 学校教育・家庭教育・他の社会 教育が連携し、オール地域の 教育コミュニティが生まれる。
		地域の学びを地域でつくる、 環境教育プログラムの提供と 持続的な運営	環境教育 活動	<ul style="list-style-type: none"> ■ 3事業で新担当誕生 ■ 継続的に関わる環境教育スタッフ数 30名増加 ■ (主催・受託含め) エコエデュプログラム参加者数 年間延べ11,775人→20,000人 年間ユニーク数5,692人→10,000人 		
		「自分の学びを自分で創る」価値を 社会に発信する	研究啓発 運営	<ul style="list-style-type: none"> ■ 団体サイトの刷新・閲覧数150%UP 日ごとビジター400→600人 ■ メディア掲載数年10件 ■ 受賞数1件以上(全国) ■ 見学・調査依頼数40件 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 「自分の学びを自分で創る」教育 活動が、全国規模で認知される 	
		「自分の学びを自分で創る」人づくり の現状や可能性を調査研究する	研究啓発	<ul style="list-style-type: none"> ■ 報告書(白書)の社会発信 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 自然体験教育・環境教育の現状が 社会で共有され課題意識が高まる ■ 環境教育を含めた社会教育の 横の連携が生まれる 	
	人と自然の関係の中で 変化を恐れず新しい価値を生む 挑戦者を増やす	固定概念を覆す 教育プログラム開発	人材育成 関係の創出 研究啓発	<ul style="list-style-type: none"> ■ 3件の新規プログラム開発 (組織内外を問わない) 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 「自然」と「教育」をテーマに 学校・行政・企業・NPO等が それぞれの枠組みに囚われず、 同じ未来を共有し、違う立場で 取り組む事業が生まれる 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 人と自然の関係を紡ぐ、新しく 鮮烈な教育トライアルが 常に提案される社会になる ■ トライに一步ふみだそう、と 思う挑戦者が増える
		街と人をつなぐ新拠点開発	関係の創出 場の創出	<ul style="list-style-type: none"> ■ 現事務所以外に1拠点開発 		
	「自分の学び」の創造の場・ 里山を核に、 人や資源の循環を生み出す	「学ぶ喜び」を生み出し伝える 人材育成の確立	人材育成	<ul style="list-style-type: none"> ■ 環境教育事業の企画立案者 (団体内外) 輩出数10人 ■ 職員・理事含めた人材育成スキーム の確立 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 日常生活のかたわら環境教育を 発信していくライフスタイルが 認知され、メディアに 取り上げられる 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 社会教育を軸とした人や資源の 循環モデルが全国に波及する ■ 自然を舞台とした社会教育 プログラムが、地域社会を かたちづくっていくために 必須のものとして認知される
		環境教育活動を核とした、 地域の環境を保全する循環づくり	場の創出	<ul style="list-style-type: none"> ■ 里山管理事業へのボランティア 参加者数のべ200→1,000人 ■ 里山管理事業への 参加団体数合計5→20団体 ■ 管理された里山エリア1→2ha 		
		社会に支持され持続していく 教育の場づくり	運営	<ul style="list-style-type: none"> ■ 賛助・寄付者数139→300名 ■ 賛助寄付総額190→400万円 		

◆ エコエデュ理事長は、2期4年が任期上限です。中期計画は新理事長が就任した年に、翌年から4年間の経営計画として策定作業を行います。理事長は策定責任者となります。
(任期満了を待たずに理事長が交代した場合、計画の修正や策定のし直しは新理事長以下理事会判断に委ねます)

◆ エコエデュ理事会は、中期計画の策定・進捗確認・検証と修正を主な業務とします。必要と判断したときは計画年度の途中でも修正を行います。

◆ この中期計画のフレームは、コミュニティ・ユース・バンクmomoのTheory of Change 2020を参考にさせていただきました。